

区分	専門分野	単位	1単位
科目名	成人臨床看護Ⅰ	時間数	30時間
講師名	専任教員、非常勤講師	履修学年	2年次
概要	周術期にある成人期の対象の特徴を理解し、危機的状況や手術侵襲からの回復のために必要な看護を学ぶ。		
学習目標	1.周術期にある成人期の対象の特徴が理解できる。 2.周術期看護の特徴が理解できる。		
<b>授業内容</b>			
回数	学習内容	授業形態	
1	周術期看護の概要① 1.手術を受ける患者の状況（生体反応と回復過程） 2.チーム医療と看護師の役割 3.家族へのケア 4.術前の看護 1) インフォームドコンセント 2) 術前オリエンテーション 3) 術前処置 4) 手術室入室までの援助（不安の緩和、手術室への申し送り）	講義	
2	周術期看護の概要② 1.手術後の看護 1) 手術侵襲・生体反応とその看護 2) 術後合併症予防とその看護 3) 術後の回復を促進するための看護	講義	

3・4・5	<p>1.手術における看護</p> <p>1)手術室の構造・設備・備品</p> <p>2)手術室看護師の役割</p> <p>3)術前オリエンテーション、入室時の看護</p> <p>4)麻酔導入時の看護</p> <p>4)手術体位と看護</p> <p>5)術中の管理（観察と看護）</p> <p>6)麻酔覚醒時の看護</p> <p>7)退出時の看護</p> <p>2.麻酔と看護</p> <p>1)麻酔の種類</p> <p>2)麻酔が及ぼす影響</p> <p>3)小児・高齢者の麻酔に伴う問題と看護/試験</p>	講義 試験
6	<p>術後の看護</p> <p>1)創傷治癒過程</p> <p>2)創傷管理</p>	講義
7	<p>胃がんの手術を受ける対象の看護</p> <p>前半：講義</p> <p>後半：事例を提示し、各グループで胃切除術を受ける患者の看護を考える。</p>	講義・演習
8	<p>胃がんの手術を受ける対象の看護</p> <p>前半：グループワークのつづき</p> <p>後半：発表・質疑応答、解答・解説</p>	演習
9	<p>消化器系の手術を受けた対象のドレーン管理</p> <p>・グループに分かれてドレーンの固定方法について演習を行う</p>	講義・演習
10・11	<p>胃切除術を受けた対象への食事指導（パンフレット作成）</p> <p>：個人ワーク</p>	演習
12	<p>大腸がんの手術を受ける対象の看護</p> <p>前半:講義</p> <p>後半:事例を提示し、各グループでストーマ造設術を受ける患者の看護を考える。</p>	講義・演習
13	<p>大腸がんの手術を受ける対象の看護</p> <p>前半：グループワークのつづき</p> <p>後半：前半グループ発表・質疑応答</p>	演習

14	大腸がんの手術を受ける対象の看護 前半：後半グループ発表・質疑応答、解答・解説 後半：試験	演習・試験
15	ストーマを造設した対象の看護の実際 ・グループに分かれてストーマケアについて演習を行う	講義・演習
<b>使用教科書・教材・参考書</b>		
新体系看護学文書 経過別成人看護学② 周術期看護 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 別巻 臨床外科看護学Ⅰ メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 別巻 臨床外科看護学Ⅱ メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 成人看護学⑤ 消化器 メヂカルフレンド社		
<b>成績評価の方法</b>		
筆記試験80%（手術室看護40%、消化器外科看護40%）、パンフレット提出20%		
<b>備考</b>		
1・2・10・11回目専任教員、3～9・12～15回目非常勤講師 5回目、14回目終了時に筆記試験を行う 15回目は各クラスで授業、その他合同授業		